

# 令和2年度平塚市下水道事業決算の概要

河川の水質保全、公衆衛生の向上や浸水防止など、快適な市民生活における重要なライフラインとしての機能を十分に発揮できるよう、効果的な施設整備と効率的な維持管理を行うとともに、将来にわたり安定的なサービスを提供するため、適正な事業運営に努めました。

## 《下水道事業の現況》

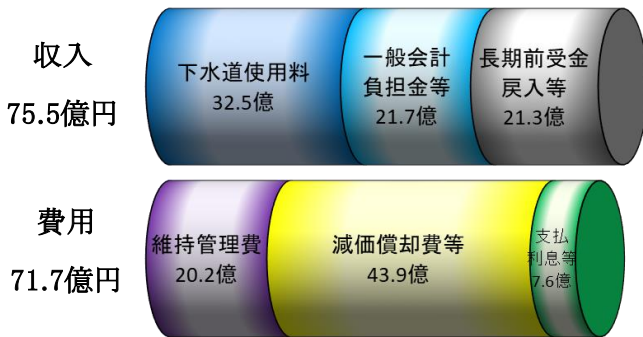
- ☑排水量 2,850万<sup>m</sup> (前年度比+12.5万<sup>m</sup>。25mプール(600<sup>m</sup>)に換算すると1日あたり130杯分)
- ☑維持管理 20.2億円(前年度比+0.6億円。税抜。損益計算書の営業費用から減価償却費等を除いた額)
- ☑設備投資 26.3億円(前年度比+9.0億円。税込。決算報告書の資本的収入及び支出の建設改良費の額)

## 《決算のポイント》

- ☑企業会計移行後5年連続で純利益を計上(当年度純利益3.8億円 対前年度△1.2億円)
- ☑費用が対前年度0.6億円の減少(管渠費・ポンプ場費+1.2億円、流域負担金△0.6億円、支払利息△1.2億円など)
- ☑収益が対前年度1.8億円の減少(一般会計負担金等△1.2億円、下水道使用料△0.8億円など)
- ☑建設改良費が対前年度9.0億円の増加(浸水対策、ツインシティ大神地区公共下水道整備及び管路・ポンプ施設の耐震長寿命化工事の実施増)

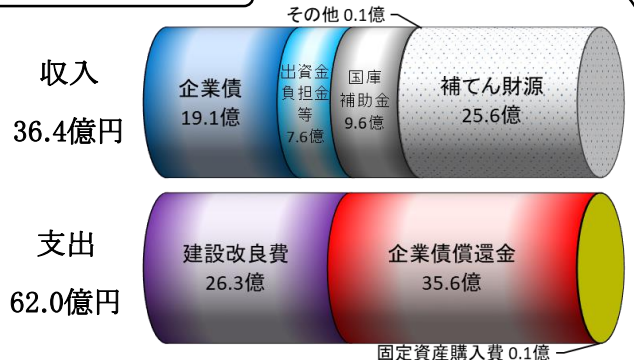
## 《収益的収支及び資本的収支の状況》

### 収益的収入及び支出



※収益的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含まない額です。

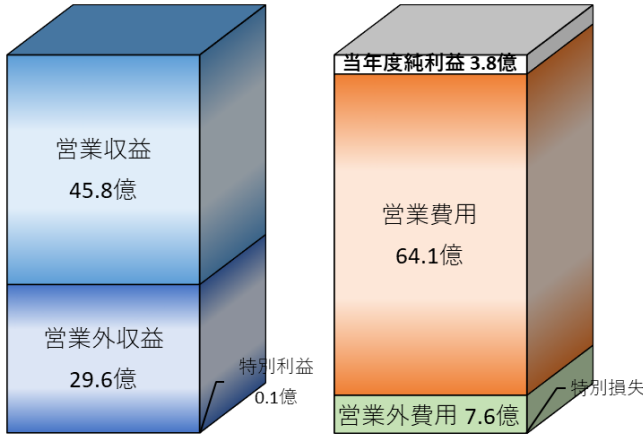
### 資本的収入及び支出



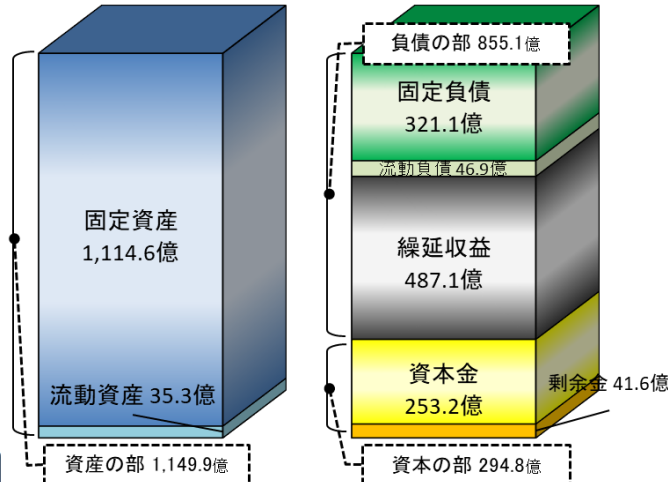
※資本的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含む額です。

## 《財務諸表》

### 損益計算書



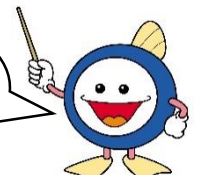
### 貸借対照表



### キャッシュフロー計算書



本資料の数値は、各表示単位で四捨五入して表記しているため、合計が一致しない場合があります。

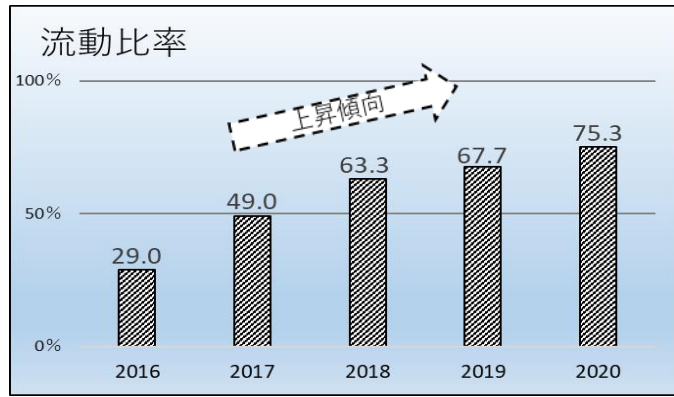


# 経営指標等

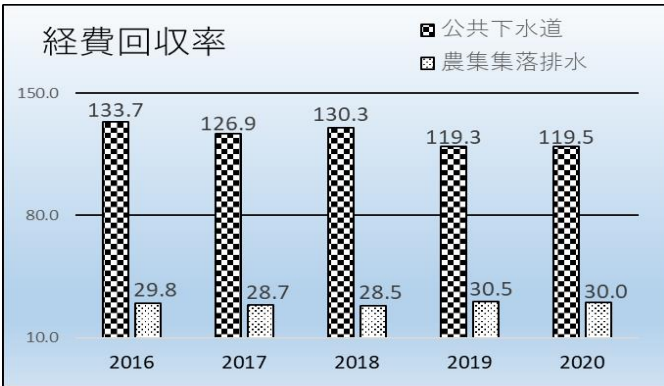
※類似単体平均値は、令和元年度数値。



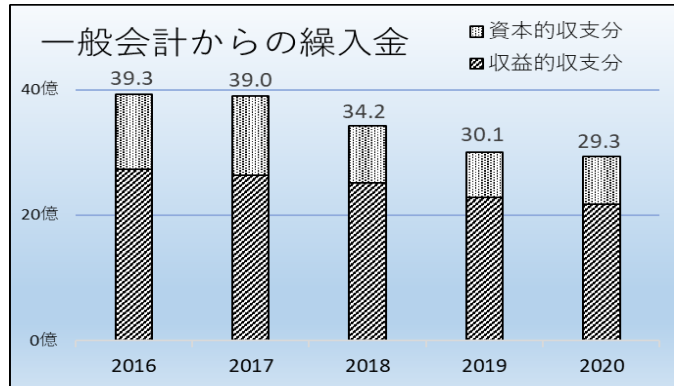
経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標。100%超を維持。当年度は費用と収益ともに減少し、前年度から1.9ポイントの減少。類似団体平均値：公共107.03%、農集104.22%



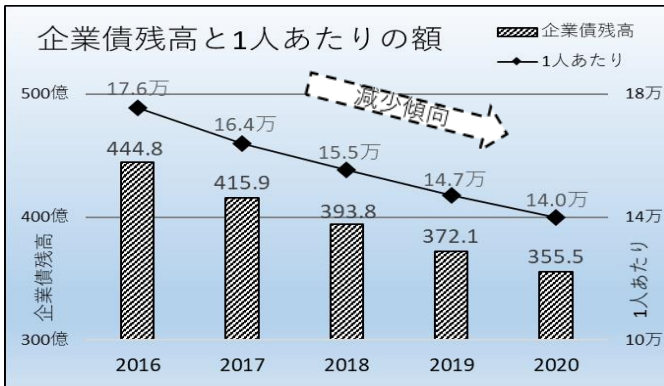
流動負債に対する支払い能力を示す指標。現金預金の確保と支払利息の減少により、率は上昇傾向。100%以上が理想値。類似団体平均値：公共73.02%、農集103.43%



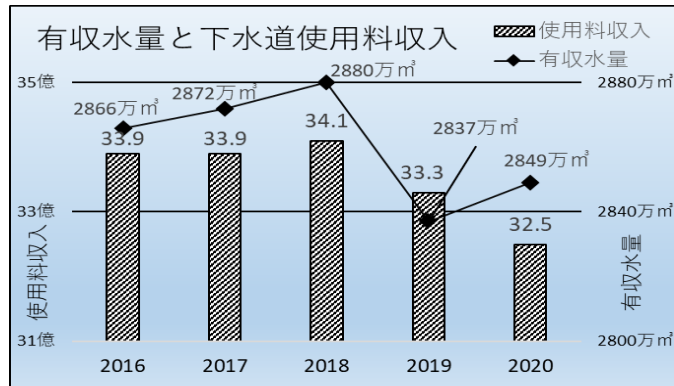
汚水処理費用を使用料収入で賄えているかを示す指標。【公共】使用料収入と汚水処理費はともに減少、数値は前年度並み。【農集】横ばい。類似団体平均値：公共97.91%、農集42.44%



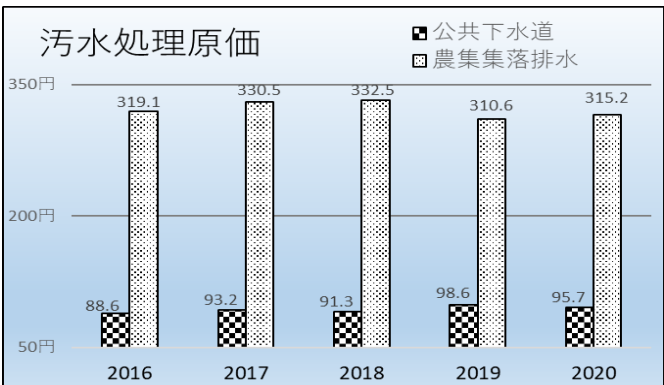
一般会計負担金、補助金及び出資金の合計額。一般会計からの繰入は、原則として繰出基準に基づく。当該年度の事業実施内容にもよるが、減少傾向となっている。



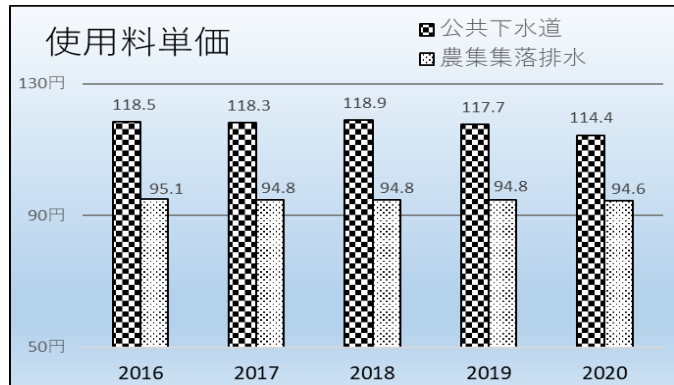
計画的な償還により未償還残高は減少傾向。類似団体平均値(1人あたり企業債残高)：公共11.4万円/人、農集24.1万円/人



営業自粛等により事業用排水量が大幅減となったが、手洗い等感染防止対策による家事用排水量の増が補う形となり、全体として有収水量は増加。多量に排水する事業所排水量の減少は、累進増徴性の使用料では収益面に大きく影響し、全体として下水道使用料は減少。



汚水処理原価 有収水量1m³あたりの汚水処理費。類似団体平均値：公共144.11円/m³、農集284.54円/m³



使用料単価 有収水量1m³あたりの使用料収入。類似団体平均値：公共115.34円/m³、農集115.58円/m³